



# 大津中だより

郵便番号 239-0808 横須賀市大津町5-2-1  
Tel (046) 823-1032 Fax (046) 824-9429  
E-mail : admini@ootsu-j.yknet.ed.jp

## 【令和4年度 学校教育目標】

感性豊かに 学びを深め 未来を拓く  
～今日を生き よりよい社会を創るために～  
【向上心】 【必要性】 【当たり前】  
発行者 校長 星野洋司



## 『「わくわく」できましたか？ そして、新しい発見は！』

39日間の夏休みも終わり、いよいよ今日から令和4年度前期後半(第2クール：8月～12月)のスタートとなりました。  
今年は夏休み直前から新型コロナウイルスの感染状況が増えはじめ第7波となりましたが、3年ぶりに行動制限の無い夏休みとなりました。活動制限は今まで通り継続していましたが、家族や友達と出かける回数や部活動も増え、少しは以前のような夏休みに近づいてきたのではないのでしょうか？

休み直前の集会では、『毎日がわくわくする』夏休みに！』とし、そして『新しい発見』を感じ、進化したスタートができるように』と話をさせていただきました。が、実際みなさんにとってどんな夏休みだったのでしょうか？39日間を振り返り、自分自身の『わくわく度』はどのくらい(何%)だったのか？』『新しい発見(進化した自分)』がどれだけあったのか？、ぜひ自己分析(振り返り)をして欲しいと思います。(ポジティブに考えてください。新しい発見は、必ずあるはずですから！)そして第2クールでは、その進化した(新たな)気持ちを持ってスタートし、新しい発見ができるよう『さらなる挑戦』をして欲しいと思っています。

この第2クールは、9月「9月試験(9教科、9月6日～)」「合唱コンクール(3年ぶり)」、10月「前期成績」「体育祭」、11月「11月試験(3年9教科、1・2年5教科)」「第48期生徒会役員選挙」、12月「3年成績」「三者面談」と、様々な取り組みが多くあり、「自分を試す」「チャレンジする」機会が多くある期間となります。

「自分をどこで試すのか?」「自分が何をやりたいのか?」「自分に何が出来るのか?」と、常にポジティブな気持ちでチャンスを逃さない準備をして欲しいのです。自分の可能性(未来)を拓くためにも、『チャンスは、自分で掴む(ピンチをチャンスに変えるのは自分)』しかないのです。一人ひとりが自分に自信を持ち、「わくわく」した気持ちで「チャレンジャー」として挑んで欲しいのです。どんな「大津中学校 第3巻 第2クール」を創ってくれるのか、楽しみにしています。よろしくお願ひします。(「できるか・できないか」ではなく「やるか・やらないか」が大切です。そして「やってダメ」なら仕方ない。そのときは、また次のチャレンジです。)

PS：私が担任をしていたときに、毎回伝えていたことを書き出します。学年ごとに、取り組み(行事等)を通して感じ、身に付けて欲しいことです。

1年生：「小学校」と「中学校」の違いを感じとる。

※上級生の行動から、中学校の素晴らしさを肌で感じる。

2年生：先輩としてのプライドを持ち、来年の自分達の姿をイメージする。

※最上級生の行動をしっかりと心に焼き付け、「大津中学校第4巻創り」をイメージする。

3年生：最上級生としてプライドを発揮し、最高の行事を後輩へつなぐ。

※3年間の経験とプライド(エネルギー)を発揮し、目標となる「大津中第3巻」を残す。

### 【合唱コンクールについて】

今年度9月29日(1・2年)・30日(3年)に実施を予定している合唱コンクールは、3年ぶりの開催となります。と言うことは、3年生にとっても初めてとなり、誰も経験したことがない行事です。(音楽の授業でも、合唱やリコーダーは様々な制限がわかり、計画通り・思い通りには進めることもできない状態でした。)

この様な状況でどこまでの合唱を創り上げることができるのか(?)分かりませんが、「感染防止対策(マスクの着用・同じ方向を向く・1m以上の距離をとるなど)」をしっかり行ったうえ、大津中合唱創りを再スタートをしたいと思います。1年生には「元気ある合唱」、2年生には「元気にさせる合唱」、3年生には「震える合唱」を期待したいと思います。今できる最大限の合唱を『わくわく』しながら楽しみにしています。

## 【大津中 小さな わくわく NO.17】 大津中から『日本一』の生徒が!!

今年の夏休みも、文化部・運動部ともに多くの大津中生が活躍し、横須賀ブロック予選で上位入賞、県大会出場と素晴らしい結果をたくさん残してくれました。

その中でも、男子バスケットボール部が県総体で「第3位」、剣道男子個人戦で、3年及川大佑くんが「第3位 関東大会出場(埼玉県所沢市開催)」水泳女子4×100mメドレーリレー(3年猪熊英玲奈さん、3年阿部夕華さん、3年皆越美希さん、1年畑中咲良さん)で「関東大会出場(茨城県ひたちなか市開催)」となりました。そして、水泳100mバタフライでは3年古賀華泳さんが「県総体3位」「全国大会出場(宮城県利府町開催)」を果たし「1:00.46」のタイムで

『**全国優勝(日本一)**』となりました。

大津中生の全国優勝は、昭和61年の柔道以来のこととなり、大変素晴らしい活躍となりました。「本当に、おめでとうございます。」また、今後の活躍も楽しみにしています。



## ◇◆◇いじめ未然防止対策『ピンクシャツデー運動』◆◆◇



横須賀市では、「いじめ未然防止運動」として、「ピンクシャツデー運動」を様々なところで開催しています。そこで、横須賀市立学校(小・中・高)でもこの運動を取り入れ、「偶数月の最終水曜日」をピンクシャツデー運動として取り組むこととなりました。

「ピンクシャツデー運動」とは、2007年にカナダで、9年生(中学3年生)男子生徒がピンク色のポロシャツを着て学校に登校したことをきっかけに、からかひや性的な差別などの「言葉の暴力(いじめ)」を受け、その生徒は以降登校することが怖くなってしまったのです。

その話を聞いた上級生(12年生・高校3年生)2名が、「いじめなんて『うんざりだ』、何かアクションを起こそう!」と相談し、「それならば、大勢の生徒がピンク色のシャツを着て生活すれば、いじめはなくなる」と考えたのです。そして学校の掲示板やメールを通じて、クラスメートや全校生徒にこのことを伝え、ピンク色のシャツを着ることを呼びかけたのです。

翌日2人は、登校途中の生徒に用意したピンクシャツを着てもらうため、前日に用意した75枚のピンク色シャツを持っていくと、何と多くの生徒がピンク色のシャツやズボン、リストバンド、ピンクの小物などを身に付けて登校して来てくれたのです。その光景は予想を超える数で、学校中がピンク色で染まるくらいでした。

いじめられた生徒は、ピンク色を身に付けた生徒たちであふれている学校を見て、気持ちが楽になり安心して登校することができるようになったのです。

それ以来その学校では、「ピンクシャツデー」を定期的に設定したところ、「いじめ」に関する話は一切聴くことがなくなったのです。

と、「いじめをなくす」ために生徒たちが、自分達の力(主体的な力)でいじめに向き合い、立ち向かった運動です。今では「ピンクシャツデー運動」として、多くの国や地方で取り組まれています。

大津中学校では、8月31日(水)から偶数月の最終水曜日を「ピンクマスクデー」として取り組みを行います。まずは先生方が「ピンク色マスク」を着用し、いじめ未然防止に向けた取り組みを実施します。この運動の目的や意味をしっかりと理解していただき、大津中学校でも「いじめ未然防止」への意識を高め、「いじめゼロ」に取り組めます。今後は生徒のみみなさんにも、「ピンクマスクデー運動」に協力していただけると嬉しいです。強制的なものではなく、賛同される方の協力をお願いします。

※1回目「8月31日(水)」、2回目「10月26日(水)」、3回目「2月22日(水)」を予定しています。